

千歳市 子育てママ 応援会議 中間報告

からの

今月の焦点
FOCUS



9月12日にこれまでの活動経過や成果について、山口市長・横田副市長に対し中間報告を行いました。

子育ての当事者が自ら放つ
《子育て応援宣言》採択に向けて

これまで7回開催された会議では、当事者ならではの声や具体的な提案などが数多く発言されました。市は、これらの意見をできるものから速やかに事業に反映させるほか、今後の新規事業化に向けた検討を進め、平成32年度から始まる新しい《子ども・子育て支援事業計画》に取り入れることを目指しています。

会議としては、来年の秋ごろまでに《最終報告》をとりまとめることを予定し、同時に《みんな子育て応援宣言》の採択を目指しています。

女性の社会進出とあわせて、乳幼児の保育を必要とする家庭が急増するなど、近年の子育てをめぐる情勢は大きく変化しています。市は、子育て当事者の考え・求めていることを計画や事業に取り入れるため、昨年10月に、子育て中の方、学生、子育て支援に携わる方など委員12人で構成する《子育てママ応援会議》を立ち上げました。今月の焦点では、発足後1年が経過し、とりまとめられた会議の中間報告をご紹介します。

平成31年度	平成30年度	平成29年度
最終回 秋ごろ	第8回 10月以降	第7回 9月
最終報告(活動終了)の採択	各種事業に関する意見交換、次期計画策定に向けた施策提案など	子ども・子育て会議への中間報告
	第6回 8月	第5回 7月
	中間報告についてアンケート調査について	中間報告(案)について
	第4回 3月	第3回 1月
	地域や企業に望むこと	乳幼児期の保育
	子ども・子育て会議への中間報告	保育士の確保
	第2回 11月	第1回 10月
	切れ目のない支援	男性の育児参画
	会議発足	

▲会議の活動歴と今後の予定

これまでの成果 委員の声を反映した13項目



今後に向けた
5つの提言



- 提言① インターネット媒体を活用した市民目線
- 提言② こども食堂の運営に対する支援方法の検討
- 提言③ 《ちとせ子育て特典カード》の普及促進・PR強化
- 提言④ 《子育てコンシェルジュ》《ちとせ版ネウボラ》がより気軽に、より身近に活用できる環境づくりの強化
- 提言⑤ 保育定員のさらなる拡大

会議の中間報告では、これまでの成果とあわせて、今後の具体的な事業化へ向けた5つの提言をまとめています。

市は、これを受け、新規事業などの検討を進めます。

意見が反映されるまでのスピードに驚いています / 伝 庄 彩子さん(子育てサークル代表)

私は、ちとせセンターの行事「転動してきた人あつまれ!」で知り合ったママたちと一緒に子育てサークルを運営しています。私のように千歳に転入してきた方が、不安を感じずに、楽しく子育てするためのお手伝いできたならうれしいです。会議には、周りの《ママ友》の意見を集めてから参加することも多いです。会議に参加して一番驚いていることは、意見が反映されるまでのスピードの速さです。ママの意見が目に見える形でどんどん実現していくので、とてもやりがいを感じています。これからたくさんのママの意見を会議に届けていきたいと思っています。



事業者の取り組みも推進したい / 齊藤 創さん(美容室「HAIR POINT すみれ」店長)

生まれも育ちも千歳の私は、地域の方と関わりながら成長してきたと感じています。《地域全体で子どもを育てる》という意識を次の世代にもつなげたいと思い、委員の活動をしています。父親の育児参画については、事業者の協力が不可欠です。市が推進している「働き方改革」や「イクボス宣言」を経営者仲間に伝えていくなど、事業者の取り組みも推進したいですね。私自身も3児の父ですが、会議に参加すると、子どもとの関わり方など学ぶことが多く、父親としての自覚や意識が強まったと感じています。